

薬物について

鳥取県米子市立淀江中学校 3年 寺澤 茉央



みなさんは、薬物についてどう思っていますか。僕の第一印象は「怖い」です。何故そう思ったのかというと、インターネットで麻薬の副作用について調べてみると、吐き気、便秘、幻覚などといったどれも人の体に悪い影響があったからです。

僕は、麻薬について調べました。そこで分かったことは、麻薬には種類が沢山あることと、見た目は風邪薬などとほとんど同じだったことが分かりました。

僕は、何故こんなにも危険なのに薬物に手を出す人がいるのか、何故薬物に手を出す人がゼロにならないのか考えました。

そこで思ったことは、「好奇心」や「気のゆるみ」が原因なのではないかと考えました。なので、僕達と同じくらいの年の子供たちも薬物に手を出してしまっている現状があり、薬物を使う人がゼロになることはないのではないかと考えました。

では、どうすれば少しでもゼロに近づけることができるのか。そこで僕は、現在の日本の薬物防止対策を調べてみました。そこで分かったことは、僕たちもおそらくやったことがある薬物乱用防止教室です。ここでは、薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさについて指導する教育活動らしいです。

今ここまで見ていくと、一見周りの人に影響はないのでは？と思いますが実はあります。何故なら、薬物には最初に言ったとおり、幻覚が見えたりします。なので殺人などが起こります。さらに、依存性もあるので薬物を入手するお金を手に入れるために、恐喝事件や窃盗事件なども起こります。このような事件が実際起きているので、薬物乱用は、自分以外にも凄く影響を及ぼします。

僕は、初めは、もし薬物に手をだそうとしている友達を見ても止められないと思っていました。でも、友達だからこそ止めなければいけないのではと思いました。僕は、薬物を売っている人には止めろとは言い出せないかもしれませんが、身近な人を止めることなら僕でもできると思いました。僕は、自分にできることをやっと思い出さうと思いました。